



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：かわの忠正 編集人：田村しんいちろう

令和3年 第3回 定例会 代表質問

コロナ禍を乗り越え 新たな日常の構築を!

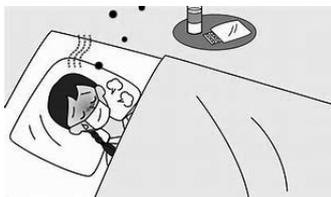
9月14日、平山こうじ議員は公明党の代表質問に立ち、新型コロナウイルスワクチン接種が加速する状況を踏まえ、さらなる感染症対策を求めたほか、行財政改革の推進、土砂災害への対応や子ども子育て支援策など45項目について質問しました。



代表質問に立つ平山こうじ議員

コロナ感染拡大防止へ 命を守る医療体制の充実を図れ!

妊娠中の方を含め、自宅療養者の容体悪化による救急搬送通報が激増しました。軽・中等症患者向けの「抗体カクテル療法」が宿泊療養施設で投与可能となったことから、取り組みを求めました。



健康福祉局長は「市医師会と連携し往診体制等の医療体制を強化し、自宅療養中の妊産婦については、県内6ブロックごとに基幹病院が周産期医療機関と連携して受け入れ体制を構築、抗体カクテル療法を含め、的確な医療提供体制に取り組む」と答弁しました。

産前・産後サポートと産後ケア 社会全体での支えを!

流産や死産を経験された方には心身のケアが必要であることから、公費助成を伴う実施要領の改正を踏まえたサービス拡充等を求めました。

こども未来局長は「不妊・不育専門相談センターや産科医療機関等と情報共有し、支援窓口の周知と適切な相談支援につなぐ取り組みを行うほか、産後ケア事業を通じて区役所地域みまもり支援センターと連携し、切れ目のない支援に努める」と答弁しました。



自然災害の激甚化に備え がけ崩れ防止対策を強化せよ!

全国で土砂災害が増加傾向にあり、熱海市で発生した土石流現場が「土砂災害警戒区域」の指定箇所であったことを踏まえ、本市内の752カ所の土砂災害警戒区域の対策強化を求めました。

まちづくり局長は「土砂災害ハザードマップの作成と配布による注意喚起のほか、宅地防災工事助成金制度による支援、県と連携した急傾斜地崩壊対策事業の推進など、土砂災害警戒区域の減少につながる取り組みを進める」と答弁しました。



地方自治体の責務 医療的ケア児への支援体制を万全に!

希望する施設に通えるよう、受け入れに向けた支援体制の拡充、医療的スキルや知識を有する人材確保等、支援ニーズへの的確な対応を含む情報発信の取り組み等を求めました。

健康福祉局長は「退院支援やサービス利用調整を行う「医療的ケア児・者等支援拠点」を新たに市内2カ所に設置し、医療的ケア児等コーディネーターに保健師及び看護師を配置する等、関係機関との連携強化を図り、ニーズに応じた情報提供に努める」と答弁しました。



いちばん近くで、動く、働く

代表質疑

看護大学開校へ！ 学生ファーストの運営を！

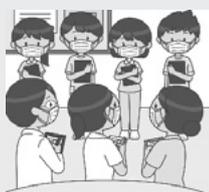


川島まさひろ議員

公明党は、本市の地域包括ケアシステム構築に向けた看護人材の育成や確保を重視し、市立看護短期大学の4年制化を提言・推進してきました。今定例会で設置に関する条例の提出を受け、デジタル化、災害時医療への対応、奨学金等の学生支援策を確認しました。修士や博士の学位の

ほか、認定看護師などの資格取得を目指す大学院の設置を訴えました。

市は「将来的な医療ニーズや財政運営などを鑑みて検討する」と答えました。



総括質疑

命と暮らしを守る施策の実施！

令和2年度の予算執行において、市民の命や生活を守る観点から、12項目にわたる質疑を行いました。

ワクチン接種の予約については、ネットや電話につながらない等の課題があることから、今後予定の3回目接種では、改善を求めたのに対し「円滑に予約が行えるよう検討していく」との答弁がありました。

また、コロナ禍における子どもたちの学びの確保や生活困窮者支援・中小企業支援等に対して、効果的・効率的な施策の実施を求めました。

市長からは、令和4年度の予算編成について「感染症対策のほか、脱炭素やデジタル化などの社会経済状況の変化に伴う新たな課題への対応を推進する」との力強い答弁がありました。



浦田だいすけ議員

お知らせ

新型コロナワクチン接種

- ◇ ワクチンの予約・変更・キャンセルなどは
 - 新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
☎0120-654-478(8:30~18:00 土日祝も対応)
FAX044-953-6339(耳の不自由な方用)
- ◇ 接種後の副反応など、専門的な相談
 - 県新型コロナワクチン副反応等相談コールセンター
☎045-285-0719(24時間土日祝も対応)
FAX045-900-0356(耳の不自由な人の相談用)
- ◇ 新型コロナワクチンの副反応に関する一般的な相談
 - 市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター ☎044-200-0730(24時間 土日祝も対応)
- ◇ コロナ感染が疑われるとき
 - 新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター ☎044-200-0730(24時間 土日祝も対応)

市長へ来年度予算を要望！

公明党川崎市議団は、令和4年度予算編成に向けた予算要望書を11月2日、市長に手渡しました。新型コロナウイルス感染症対策、豪雨対策や子育て支援など、市民意見・団体要望・公約を盛り込んだ重点要項10項目を含む616項目を、実現に向けて強く要望しました。



生理用品の無料提供スタート！



公明党は、経済的理由等から生理用品が入手困難な方への対応策を提案。この度、民間事業者との連携で市内公共施設(川崎市立看護短大17ヵ所、幸区役所9ヵ所)の女性トイレ等に生理用品を無料で提供する機器(ディスペンサー)が

設置されました。

また、区役所地域みまもり支援センター窓口、区社会福祉協議会窓口等で生理用品の無償配布もします。

詳しくは、市のHP「生理用品配布について」をご覧ください。